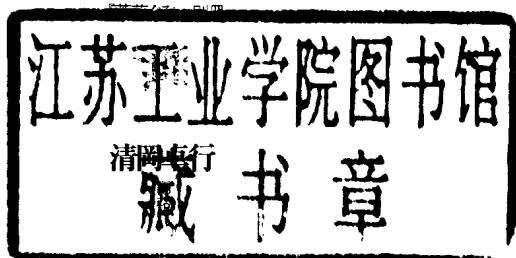


anthologie de poèmes de la rose

薔薇の詩のアンソロジー



日本文芸社

© 1990 Takayuki Kiyooka
Printed in Japan



清岡卓行編・訳
薔薇の詩のアンソロジー
〔薔薇ぐるい 別冊〕

*

1990年10月9日第一刷印刷
1990年10月15日第一刷発行

発行者 兵頭武郎
発行所 株式会社 日本文芸社 〒101 東京都千代田区神田神保町1-8
電話 294-8931(営業) 294-8936(編集) 振替 東京8-73081
本文印刷所 図書印刷
函・表紙・扉印刷所 栗田印刷
製本所 大口製本

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

目次

日本の薔薇の詩（清岡卓行編）

俳句の作品から……………	与謝蕪村	9
短歌と俳句の作品から……………	正岡子規	10
腐りゆく匂ひ……………	与謝野晶子	12
薔薇の歌……………	与謝野晶子	14
白ばら……………	堀口大学	17
ばらの花……………	堀口大学	18
薔薇二曲……………	北原白秋	20
あをいネルを着た娘……………	大手拓次	22
あをい薔薇……………	大手拓次	24
足の生えた薔薇……………	大手拓次	26
月光と薔薇……………	川路柳虹	28

眼	西脇順三郎	30
薔薇 I	金子光晴	32
湖上の薔薇	河邨文一郎	37
花びらの音	片山敏彦	40
香氣	丸山薫	42
白薔薇	三好達治	44
薔薇	三好達治	45
辻公園	北園克衛	46
『不合理ゆえに吾信ず』から	埴谷雄高	48
俳句の作品から	中村草田男	49
爽やかな五月に	立原道造	50
薔薇	那珂太郎	52
白日の薔薇	渋沢孝輔	54

薔薇……………	小海永二
冬の薔薇……………	清岡卓行
	58
	56

外国の薔薇の詩（清岡卓行訳）

東山への思い……………	李白
新しく植えた薔薇に戯れて言う……………	白居易
「薔薇の花の連句」から……………	白居易
『四行詩集』 ^{ルバイヤート} から……………	オマル・ハイヤーム
カッサンドルへのオード……………	ロンサール
病気の薔薇……………	ブレイク
小さな野薔薇……………	ゲーテ
「少年時代」から（部分）……………	ランボー
	77
	74
	72
	70
	68
	67
	66
	65

サーディの薔薇……………	デボルドゥアルモール	78
格言……………	レニエ	80
「庭で」から……………	ルナール	83
家には薔薇の花が満ちるだろう……………	ジャム	84
『薔薇の花』から……………	リルケ	86
同……………	リルケ	88
同……………	リルケ	90
ディジョンの栄光……………	ロレンス	92
朝食のテーブルのうえの薔薇……………	ロレンス	94
詩人について……………		97
あとがき……………		105

装帧
野崎
麻理

薔薇の詩のアンソロジー

日本の薔薇の詩（清岡卓行編）

俳句の作品から

与謝蕪村

花菱故郷の路に似たるかな

愁ひつゝ岡に上れば花菱

道絶えて香にせまり咲く菱哉

短歌と俳句の作品から

正岡子規

くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨はるさめのふる

うたゝ寝のうたゝ苦しき夢さめて汗ふき居れば薔薇の花散る

鏝かっせ節紙せましに包みて水引みづひきに松と薔薇とをくゝりそへて遣やる

薔薇を剪る鋏刀の音や五月晴

赤き薔薇白き薔薇皆さみだるゝ

夕風や白薔薇の花皆動く

薔薇の花此頃絶えし寒さ哉

腐りゆく匂ひ

与謝野晶子

壺には、萎みゆくままだに、
取換へない白茶色の薔薇の花。
その横の廉物の仏蘭西皿に
腐りゆく林檎と華欄の果。
其等の花と果実から
ほのかに、ほのかに立ち昇る
佳き香の音楽、

わたしは是れを聴くことが好きだ。

盛りの花のみを愛でた

青春の日と事変り、

わたしは今、

命の秋の

身も世もあらぬ寂しさに、

深刻の愛と

顔唐の美と

其等に半死の心臓を温ためながら、

常に真珠の涙を待つてゐる。

薔薇の歌

与謝野晶子

まあ華やかな、
けだかい、燃え輝いた、
咲きの盛りの五月の薔薇。
どうして来てくれたの、
このみすばらしい部屋へ、
この疵だらけの卓^{デスク}の上へ、